

令和8年度保育部会職員研修報告書

浜田市保育連盟会長 煙艸 のぞみ(ちどり保育所)			保育部会長 松浦 清美(やさかこども園)		
開催 日時	令和8年9月10日	開催場所	浜田市総合福祉セ ンター 会議室	記 録 者	渡邊 さやか (三隅保育所)
	13:30~16:00				
出席者	みのり、みのり第2、れんげ、ひかり、岡見、聖バルナバ、 今福、やさかこども園、ちどり、ちどり第2、三隅、つくし、 三保、あおい、うみかぜ、美川、くもぎ、おぐに			欠 席 者	なし

◇5歳児健診をはじめとする健診について
浜田市役所子ども子育て支援課子育て支援係 係長 山本 麻里氏

●乳幼児健診とは
「見つける」だけではなく、「支える」ための健診
子どもの育ちを知り、これからを一緒に考える場

●乳児健診(生後4～5か月)
視点：からだ・基本的な発達・親子関係

●1歳6か月健診(1歳6～7か月)
視点：運動・言葉・人への関心・生活

●3歳児健診(3歳4か月)
視点：言葉・理解・社会性・生活自立

●5歳児健診(5歳・年中児相当)
経緯：就学までの切れ目のない発達支援体制として、健診や巡回、アンケートや相談会を実施してきた。新たに5歳児健診を実施することで就学に向けて子どもとその家族を支える体制がより強化されとの考えから、令和8年6月より開始。

目的：子どもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援を行うとともに、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持および増進を図る。

視点：集団適応・社会性・行動・就学への準備

流れ：保護者へ就学に向けての話をしている間、子どもは別室で待機。

＊その間、子どもの着衣、待てるかどうか等の観察



診察 ＊筆圧や姿勢等の確認



個別相談

☆大切なのは「就学までにできるようにする」ではなく、「安心して生活・学習できる環境を整えること」

5歳児健診後のフォロー体制：

健診後のカンファレンスで支援の方向性を整理しフォローへつなげる
(専門相談、巡回訪問、すこやか健診、学校見学等)

園だからこそ見える子どもの姿

「何が苦手か」だけではなく「何ならできるか」を見る

＊健診後に保護者に話を聞くと良い

◇乳幼児期の発達の見立てと支援 ～健診のポイントと医療・支援・連携について～

西部島根医療福祉センター 脳神経小児科 大野 貴子氏

●実際の健診で、どこで・どんなことを気にしているか？

健診での気づきは子どもを見る前に始まる

- ・問診票がちゃんと書けているか
- ・母子手帳は情報の宝庫
- ・「わからない」という回答が3個以上あると要注意。

●1歳6か月児の発達

- ・1歳半でしゃべるか、歩けるか
- ・1つ1つの意味のあることばを話しているか 等
- ・早くひっかかるほど障がいは重い

●3歳児の発達

- ・○が書ける(○がちゃんと閉じる)
- ・『わたし』がわかる
- ・○個がわかる(1～10まで唱えられることと、1個2個などの量がわかることは違う)
- ・色がわかる 等

●4～5歳児の発達

- ・物の用途(何をするものか)がわかる 等

●5歳で「できること」＝年中の時にできていてほしいこと

- ・会話に関すること(何組さんですか？先生の名前は？など)
- ・発音の明瞭さ
- ・動作模倣

- ・協働運動
指のタッピング、
前腕の回内外(キラキラの動き)…鉛筆を動かすときに必要
- ・概念の理解
しりとりができる…5歳後半 等

●「気になる子ども」って

『大人を困らせる子』ではなく、『困っている子』

☆「様子を見ましょう」はただの放置

…いつ頃、何を、どんな方法で確認するのかを明確に

保育所・幼稚園から学校へ…どんな準備がいるか

○身体の不調を伝えられるということが大切

●医療で何をするのか？

- ・医療的支援
- ・知能検査・発達検査などの検査
診断名は、その子が必要な支援をしてもらうためのパスポートのようなもの
→まわりとの共通理解
『グレーゾーン』は診断レベル…グレーは「白」ではない。「黒」が混ざっている。
境界域は手を入れるレベル

●連携の為に必要なこと

1. 子どもと家族の状態を知っている
2. どんな機関があって、どこで何をしているか知っている
3. どんなサービス(教育・福祉)があって、どうしたら利用できるか知っている
4. 相手の状況・立場を尊重する
5. のりしろ

自分たちの仕事はここまで、あとはよそで…では隙間から子どもや保護者がこぼれる

《質疑応答》

Q：受診前に、保育所での子どもの様子を書いた文書を求められることがあるが、どのような内容を書いたら良いのか。

A：生活自立、友だち関係を書く。できるようになったことや好きなことなどプラスの事も書いてあると、受診の際に話のとりかかりにしやすい。それらのことをA4用紙1枚にまとめてほしい。

《感想(抜粋)》

- ・健診についての内容がとてもわかりやすく、初めて知ることも多かった。
- ・情報共有は大切だと思った。
- ・5歳児健診の必要性、どのように子どもたちを見て就学・小学校へつないでいけばいいか

ポイントがたくさんあり勉強になった。

- ・「できる、できない」より、その子の困り感を理解した上でできそうな支援を大切にしたいと感じた。 等



※この報告書全文は連盟 HP 会員向けページに掲載します。又、下欄は活動報告ページに掲載します。